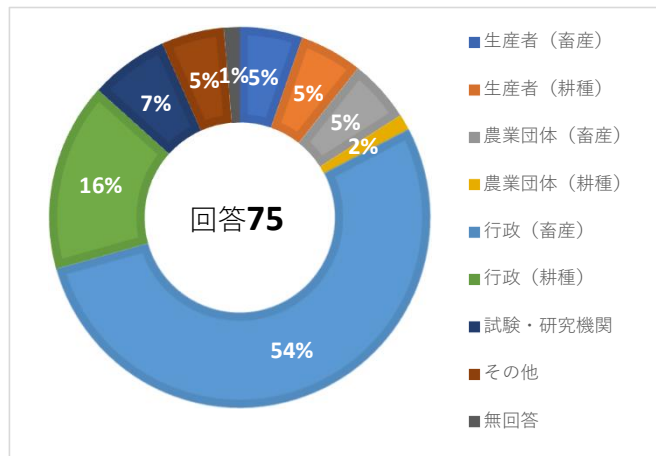


令和6年度関東地域飼料増産行動会議現地研修会 アンケート結果

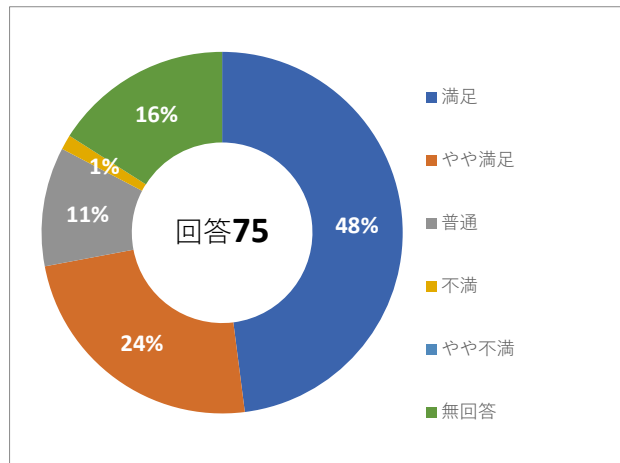
問1：参加者の職業について

生産者（畜産）	4
生産者（耕種）	4
農業団体（畜産）	4
農業団体（耕種）	1
行政（畜産）	40
行政（耕種）	12
試験・研究機関	5
その他	4
無回答	1



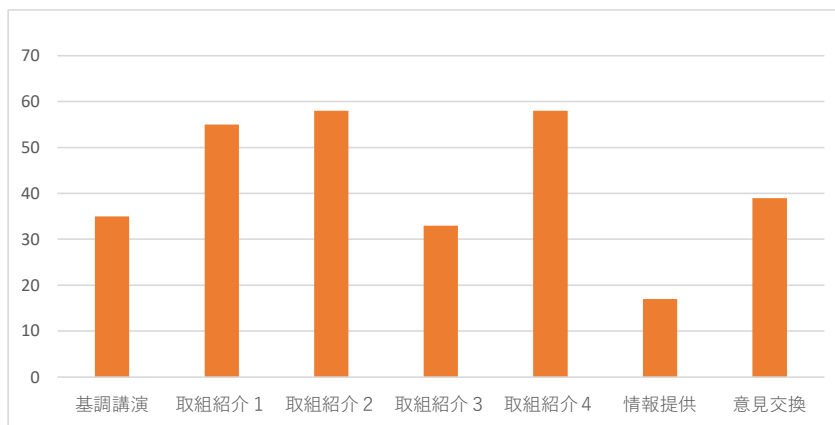
問2：本研修会の満足度について

満足	36
やや満足	18
普通	8
不満	1
やや不満	0
無回答	12



問3：参考になった内容について

基調講演	取組紹介 1	取組紹介 2	取組紹介 3	取組紹介 4	情報提供	意見交換
35	55	58	33	58	17	39



◎特に参考となった内容

- ・三芳、多古町の耕畜連携の取り組みの方法（スキーム）
- ・（情報提供）飼料用大豆の話をもっと聞きたかった。資料があれば送付して欲しい。
- ・「取組紹介1」について耕畜連携を選択した理由（地域の事情を知ることができたこと）。
- ・耕種農家と畜産農家の連携の流れ。
- ・様々な形の耕畜連携があり、柔軟な発想が必要（求められる）と改めて感じました。
- ・意見交換では、生産者の生の意見を聞くことが出来て大変よかった。
- ・WCSの取り組みや、コントラクターなどの取り組みが今後増やしてはかなくてはならない。
また、少しずつ増えていること、今後もさらに期待したい。
- ・農家自身が中心となった、コントラクター設立と運営の維持。
- ・行政が中心となって耕畜連携が進んだ事例として、大変参考になった。
- ・取組紹介5が参考になった。
- ・菅原農園のようなデントコーンをメインで経営しているところ。
- ・米価高騰が今後どのように影響してくるのか検討し、その状況下でも安定的に飼料供給できる仕組みについても考えていく必要があると感じました。
- ・多古町における栽培定着に向けた取り組み。
- ・耕畜連携を行うことで飼料生産コストの減少や、堆肥の活用など素晴らしい取り組みであると感じました。（取組紹介2、4）
- ・多古町の事例（耕畜連携会議の内容）。
- ・意見交換「これからの耕畜連携の在り方」、「県産飼料の生産利用拡大に向けて」。
- ・オペレーターの確保や耕畜連携の具体的な取り組み。（取組紹介1）
- ・必要な機械装置について。（取組紹介2）
- ・畜産農家と耕種農家をコーディネートする方法。（取組紹介4）
- ・基調講演、多古町の事例。
- ・耕畜連携を進めるためには、耕畜への働きかけ（施策）が重要だと思います。
- ・自身の経営上のメリットがなければ取組拡大したいと思います。
- ・本日の出席者（発表側も参加者も）に耕種側の行政職員が少ないように感じました。
これでは、耕種農家の考えも行政に伝わらないのではと思いました。
- ・耕種農家が取り組む青刈りトウモロコシの大規模生産。
- ・耕畜連携についての実例、コシヒカリからWCS専用品種への転換、
新規就農から青刈りとうもろこしと耕畜連携の取り組み。

問4：今後取り上げて欲しいテーマ

- ・サイレージに適した作物の紹介。ソルガムの有効性の検証。サイレージへの乳酸菌添加のメリット（牛に好影響があるか）
- ・直近のトレンドをきいてみたい
- ・ホストとなる自治体のめぐる情勢のような報告として、直面している飼料生産に係る課題とその解消策。
- ・飼料増産に係る業務の中で、新規就農取組者の意見など発表。
- ・コントラクターなどに異業種から参入した事例について話を聞きたい。
- ・飼料作物の保管場所をどうしたか。
- ・今回のような対面の集まり。
- ・水田裏作で飼料生産に取り組んでいる地域の取組内容の良い点、悪い点について。
- ・耕畜の連携を必要と認識していますが、お互いの立場を理解する必要性を強く感じました。
- ・畑作での耕畜連携事例をもっと知りたい。
- ・耕畜連携による畜産物の付加価値化。
- ・デントコーンなどの二期作→担当地域での取り組み状況について教えて欲しい。
- ・他県の耕畜連携事例について。
- ・スマート農業機械を活用した事例
- ・飼料の販売・流通を扱う業者の話が聞きたい（特に県内の）。
- ・内容としては、需要量と買取金額。
- ・飼料用イネにおいて、コスト削減のため農薬使用を控え、上手くいっている事例。
- ・各飼料の収量について。

問5-1：（耕種農家）飼料生産に関わっているか	回答数 6（生産者 4、農業団体 2）
関わっている	4
関わっているが課題を抱えている	2

問5-2：（関わっているが課題を抱えていると回答した方）それはどのような課題か

飼料生産機械の導入	3
安定した販売先の確保	2
適切な価格・料金の設定	3
保管場所の確保	2
品質の確保	2
作業人員の確保	1
栽培技術の習得	1
補助事業の情報入手	1

問6：（畜産農家）耕種農家にお願いしたいこと（生産者 4、農業団体 1）

機械のオペレーターをお願いしたい。	1
播種作業から収穫作業まで一連の作業を委託したい。	2
作業の一部を委託したい。	1（堆肥運搬、トラクター作業）
間に合っているので特段ない。	2
その他。	0

以上